

社会資本総合整備計画評価審議資料【都市整備課】

○計画の名称

④「地域の誰もが安心できる歩行空間の確保と災害時の避難復旧活動を見据えたまちづくり（防災・安全）」

- ・説明資料（スライド） . . . p. 1～6
- ・社会資本総合整備計画事後評価書 . . . p. 7～10

事後評価 社会資本総合整備計画

地域の誰もが安心できる歩行空間の確保と
災害時の避難復旧活動を見据えたまちづくり
(防災・安全)

都市建築部 都市整備課
令和5年2月6日

社会資本総合整備計画の事業評価について



社会資本整備総合交付金（略称：社総金）

社会資本総合整備計画の策定

- 地域が抱える政策課題を地方公共団体自ら抽出
- 課題に対して3～5年間で達成することを目標とする定量的な指標を設定
- 目標を達成するために必要な事業箇所を選定
- 自主的に整備計画の妥当性等を評価した後、計画を国土交通大臣に提出

事業実施（3～5年）

事後評価

- 【評価事項】
- ①事業の進捗状況
 - ②事業効果の発現状況
 - ③成果目標の実現状況
 - ④今後の方針

- 岐阜県事業評価監視委員会への意見聴取
- 事後評価の結果の公表、国土交通大臣への報告

社会資本総合整備計画の概要



計画名称

地域の誰もが安心できる歩行空間の確保と災害時の避難復旧活動を見据えたまちづくり
(防災・安全)

計画の期間

平成28年度～令和2年度（5年間）

計画の対象

道路整備事業（現道拡幅、無電柱化、歩道整備）

計画の目標

市街地内における通学路整備、防災拠点間を結ぶ緊急輸送道路の無電柱化、緊急対策踏切の抜本対策を行うことで、安全で快適な歩行空間の確保を図り、防災・減災の観点から災害時の避難復旧活動を支援する円滑な道路ネットワークを構築する。

成果目標（アウトカム指標）

安全で快適な歩行空間の確保、災害時に機能する円滑な道路ネットワークの構築
→具体的な成果目標

1. 渋滞緩和、走行環境改善による移動時間便益 ⇒目標：1,545百万円/年
2. 歩車道分離による歩行者・自転車関連事故の減少割合 ⇒目標：10%減少

3

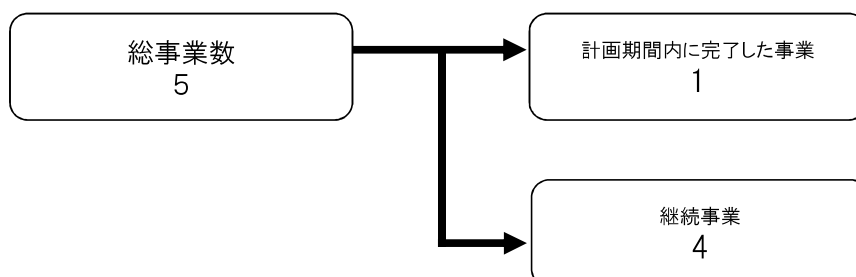
(1) 事業の進捗状況



■進捗状況表

	当初計画		最終計画	
	事業数	事業費	事業数	事業費
地域の誰もが安心できる歩行空間の確保と災害時の避難復旧活動を見据えたまちづくり (防災・安全)	5事業	10,665百万円	5事業	10,665百万円

■事業進捗状況



- ・用地取得の難航、JR協議などにより期間内に完成せず
- ・部分供用により事業効果を発現
- ・引き続き完了を目指し事業継続

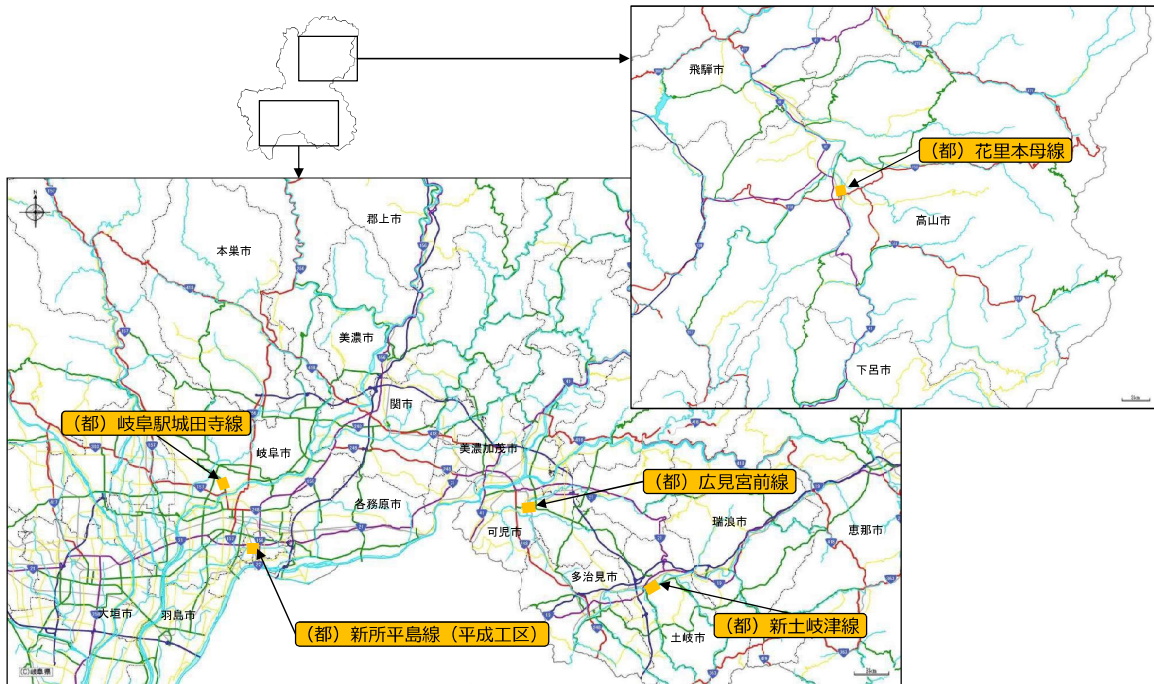
4

(2) 事業効果の発現状況 (事業位置)



事業箇所位置図

全要素事業（5事業）の位置は、下図のとおり。



5

(2) 事業効果の発現状況①



事業概要

- 路線名：(都) 広見宮前線
- 整備箇所：可児市下恵土豊田
～可児市下恵土宮前
- 事業延長：約0.4 km
- 完 成：約0.4 km (令和元年度)



位置図

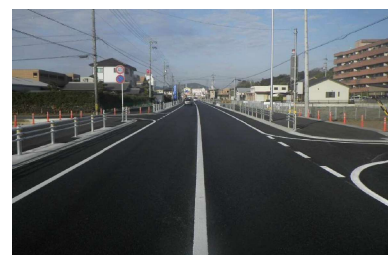


整備状況写真

整備前



整備後



安全な通学路の確保、駅アクセス機能の強化

6

(2) 事業効果の発現状況②



事業概要

- 路線名：(都)新所平島線(平成工区)
- 整備箇所：羽島郡岐南町徳田
～羽島郡岐南町平成
- 事業延長：約0.9 km
- 完 成：約0.2 km (歩道)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



歩道の整備により、安全で快適な歩行空間の確保に寄与

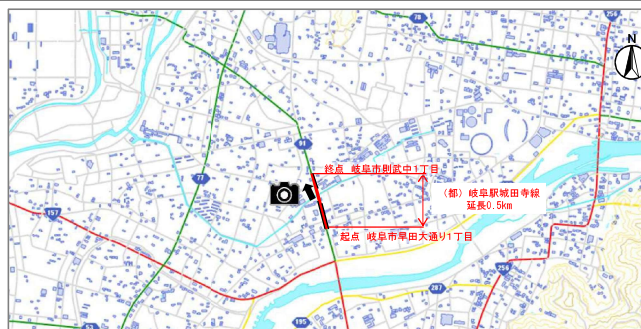
7

(2) 事業効果の発現状況③



事業概要

- 路線名：(都)岐阜駅城田寺線
- 整備箇所：岐阜市早田大通り1丁目
～岐阜市則武中1丁目
- 事業延長：約0.5 km
- 完 成：約0.3 km (歩道・無電柱化)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



無電柱化・歩道整備により、安全で快適な歩行空間の確保に寄与

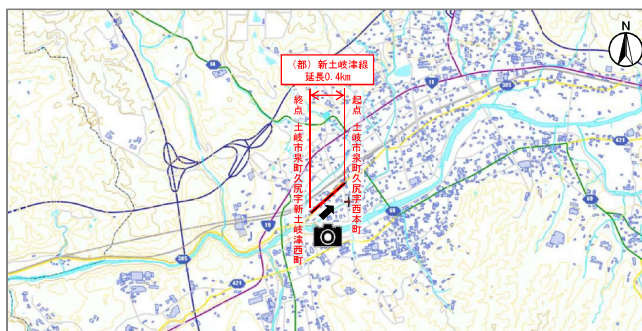
8

(2) 事業効果の発現状況④



事業概要

- 路線名：(都)新土岐津線
しん ときつ せん
- 整備箇所：土岐市泉町久尻字西本町
とき いずみちよう くり あざ にしほんまち
～土岐市泉町久尻字新土岐津西町
とき いずみちよう くり あざ しんときつ にしまち
- 事業延長：約0.4 km
- 完 成：約0.3 km (一部区間完成)

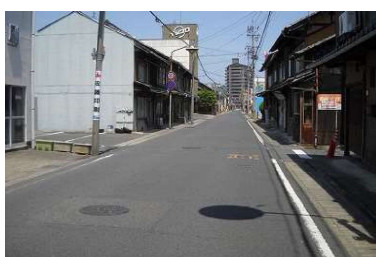


位置図



整備状況写真

整備前



整備後



部分供用により、走行環境改善、安全で快適な歩行空間の確保に寄与

9

(2) 事業効果の発現状況⑤



事業概要

- 路線名：(都)花里本母線
はなさと ほのぶ せん
- 整備箇所：高山市花里5丁目
たかやま はなさと
～高山市花里6丁目地内
たかやま はなさと
- 事業延長：約0.3 km
- 完 成：約0.1 km (一部区間完成)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



部分供用により、渋滞緩和、安全で快適な歩行空間の確保に寄与

10

(3) 計画の成果目標（定量的指標）の実現状況



■ 定量的指標

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 渋滞緩和、走行環境改善による移動時間便益 | ⇒目標：1,545百万円/年 |
| 2. 歩車道分離による歩行者・自転車関連事故の減少割合 | ⇒目標：10%減少 |

■ 定量的指標の算定式

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 評価時点の各要素事業の短縮時間×区間の交通量×時間価値原単位 |
| 2. (整備前事故件数－整備後事故件数) / (整備前事故件数) |

■ 事業効果

定義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値 (R2末)	結果 (R2末)	適用
移動時間短縮便益	都市計画道路の整備により道路交通の円滑化を図る	1,545百万円/年	273百万円/年	未達成
歩行者・自転車関連事故	歩道の連続的な整備により安全な歩行者空間の確保を図る	10%減少	75%減少	達成

11

(4) 今後の方針（案）



◆ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 5事業のうち、1事業が完成、2事業が一部区間の完成であったため、移動時間短縮便益の目標値は、達成することができなかった。
- ・ 全ての事業で、歩道を部分的に供用できたこともあり、歩行者・自転車関連事故の目標値を、達成することができた。

◆ 今後の方針（案）

- ・ 期間中に完了しなかった事業については、引き続き、社会資本総合整備計画の中で計画的に都市計画道路の整備を進めていく。

12

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	地域の誰もが安心できる歩行空間の確保と災害時の避難復旧活動を見据えたまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岐阜県												
計画の目標	市街地内における通学路整備、防災拠点間を結ぶ緊急輸送道路の無電柱化、緊急対策踏切の抜本対策を行うことで、安全で快適な歩行者空間の確保を図り、防災・減災の観点から災害時の避難復旧活動を支援する円滑な道路ネットワークを構築する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,665	A	10,665	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	道路が整備されることによる渋滞緩和や走行環境改善により短縮できる移動時間を便益で算出し、概ね1,545百万円の効果を発現させる。 道路が整備されることによる渋滞緩和や走行環境改善により短縮できる移動時間を便益で算出 評価時点の各要素事業の短縮時間×区間の交通量×時間価値原単位	0百万円/年	0百万円/年	1545百万円/年
2	歩車道分離による歩行者・自転車関連事故件数の減少割合を整備前後で比較し、概ね10%減少させる。 歩車道分離による歩行者および自転車の関連事故件数の減少割合 (整備前事故件数－整備後事故件数) / 整備後事故件数	0%減少	0%減少	10%減少

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
岐阜県強靱化計画（H27～H31）に基づき実施される要素事業有														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都)新所平島線(平成工区)	道路改築 踏切除去 0.9km	岐南町	■	■	■	■	■	4,000		—	
	A01-002	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都)岐阜駅城田寺線	道路改築 0.5km	岐阜市	■	■	■	■	■	3,000		—	
	A01-003	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都)広見宮前線	道路改築 0.4km	可児市	■	■	■	■		500		—	
	A01-004	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都)新土岐津線	道路改築 0.4km	土岐市	■	■	■	■	■	2,200		—	
	A01-005	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都)花里本母線	道路改築 0.3km	高山市		■	■	■	■	965		—	
											小計						10,665			
											合計						10,665			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岐阜県事業評価監視委員会に意見を徴収

事後評価の実施時期

令和5年2月6日

公表の方法

岐阜県ホームページで公表予定

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・5事業のうち、1事業が完成、2事業が一部区間の完成であったため、移動時間短縮便益の目標値は、達成することができなかった。
- ・全ての事業で、歩道を部分的に供用できたこともあり、歩行者・自転車関連事故の目標値を、達成することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・期間中に完了しなかった事業については、引き続き、社会資本整備計画の中で計画的に都市計画道路の整備を進めていく。

案件番号：

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	1545百万円／年
	最終実績値	273百万円／年
渋滞緩和、走行環境改善による移動時間便益		
5事業のうち、計画期間内に完成したのが1事業のみであったため。		
2	最終目標値	10%減少
	最終実績値	75%減少
歩車道分離による歩行者・自転車関連事故の減少割合		
5事業全てで歩道を供用（部分供用含む）できたことなどにより、目標を達成できた。		